

エネルギーキャンパスがDGNB（ドイツサステナブル建築協会）によるプラチナの認証を取得しました。



表彰盾

「スティーベルエルトロンにとって歴史的な一日に」

スティーベルエルトロンの革新的なトレーニングセンターと分析・情報発信センターとして建設されたエネルギーキャンパスが、DGNB（ドイツサステナブル建築協会）により、“トレーニングセンター”としては今まで最も評価の高いプラチナの認証を取得致しました。DGNB会長であるクリスティーネ・ルメートル博士から式典においてプラチナ認証を授与されました。これはDGNB認証において最高位の認証を獲得したことになります。

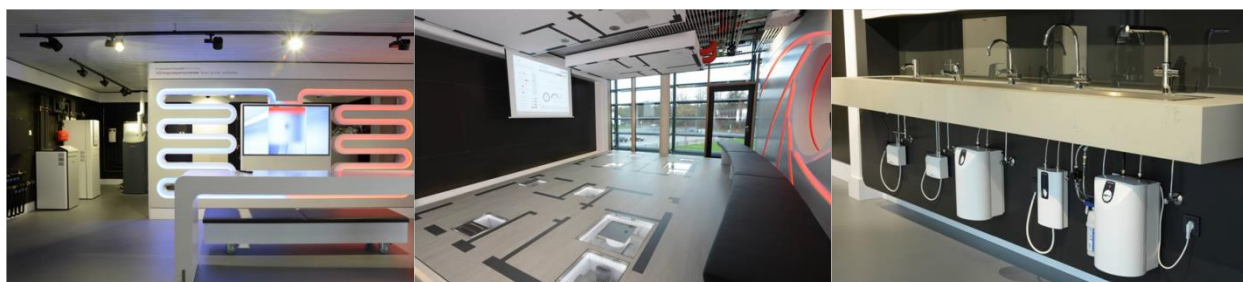
スティーベルエルトロンは2015年末に開設したセンターの建設に16.500.000ユーロを投資しました。施設の新設に際し、設計の段階からDGNB認証を目標として掲げておりました。オーナーであるウルリッヒ・スティーベル博士、息子のカイ・スティーベル氏、カールハインツ・ライツェ代表取締役（販売部門）、カイ・シーフェルバイン博士（技術部門）、トレーニングアカデミー代表のフランク・レーダー氏、そしてエネルギーキャンパス設計のプロジェクトマネージャーであるアンドレアス・フムフェル氏らが認証授与を心待ちにしておりました。

「今日という日はスティーベルエルトロンにとって歴史的な一日である」とウルリッヒ・スティーベル博士は述べました。カールハインツ・ライツェ氏はエネルギーキャンパスを同社の名刺に記載しました。「この建物は我々のブランドイメージを反映している。我々是我々企業のDNA、我々の専門分野を建築そして建築物に注ぎ込んだのだ」。社員だけではなく、取引先関係者やその他訪問者も受賞に沸いていました。「我々は全てを前向きに検討していく。新設の建築物に対する期待は既に当初から高かったが、それは予想をはるかに超えたということだ」。



プラチナ認証を授与されたエネルギー・キャンパス

クリスティーネ・ルメートル博士は評価対象の建物だけではなく、特にDGNBがテーマとして掲げる持続可能な建築を理解し、責任をもってその理論を実践に移した事に明らかに感銘を受けておられました。「どのくらい重点的にテーマを追求し、持続可能で社会的責任を担う未来に適した建築物という概念を心から受け止めたかが、手に取るように感じます。DGNB認証に要求されるレベルが全体的に見てとても高く86%に達しており、貴社が達成した事実を誇りに思うべきです。貴社は野心的と評されるかもしれませんね。」と博士は目配せして述べました。DGNB認証取得への挑戦は、シルバーやゴールドでさえとても高いレベルが要求されます。「プラチナ認証という他に例を見ない記録の達成は、それ故一層特筆すべきことです」。



エネルギー・キャンパスは、スティーベルの建築サービスと暖房テクノロジーをオンラインのビル会議（DGNB）システムを用いた最高レベルの情報を提供しています。

3つの重要な基準、建設事業における環境面、経済面そして社会文化的品質がDGNB認証の適用を決定づけます。それらは更に数多くのサブカテゴリーに分類されます。「DGNB認証取得を志すという決断は、建設事業開始から考慮されるべきです。全工程、設計変更、計画そして建設は審査されなくてはならず、評価され、万が一必要な場合はDGNBの指針に沿うように繰り返し調整されます」とアンドレアス・フムフェル氏は説明しました。「計画・コンサルティングにおいてパートナーの関係各社が規格に従って労を厭わず携わってくれたからこそ、彼らの助力無しには我々はこの成功を達成できませんでした。認証の必要条件及び規定からも、この建物は法外に高くないかもしれません」。

「品質はもとより経済面から見ても条件を満たしていないとなりません。」とルメートル博士は述べました。「この建設事業は、認証取得の工程において傑出した例であり、最終成果と言えるでしょう。」

スティーベルエルトロン本社があるホルツミンデン市長助役のエーバーハルト・アッシュ氏は市議会を代表して祝辞を述べ、この度の認証取得に賛辞を讃えました。「とても感銘を受けました。非常に困難な大事業を見事に成功させる為に、貴社の幅広い分野の専門知識が結集されたことは明らかでしょう。スティーベルエルトロン社がホルツミンデンに居を構えているということ、そしてエネルギーキャンパスが今後もこの町を世に広めてくれることを誇りに思い、同時に感謝の意を述べたいと思います。この度授与された建物は、町並みを特徴付けるでしょう」。



DGNB（ドイツサステナブル建築協会）会長クリスティアーネ・ルメートル博士がウルリッヒ・スティーベル博士（右）そしてカールハインツ・ライツェ代表取締役兼プラチナ認証証を授与。布に覆われた表彰盾が式典での除幕を待っている。



除幕後の和やかな一場面：（左から）カーステン・ブレーマー氏（エネルギーデザイン社）とカティア・アッフェルト氏（DGNB広報部）、エーバーハルト・アッシュ氏（ホルツミンデン市長助役）、アンドレアス・フムフェル氏（プロジェクトマネージャー）、カイ・シーフェルバイン博士とカールハインツ・ライツェ代表取締役、建築家のギュンター・シュライフ氏、クリスティアーネ・ルメートル博士、ウルリッヒ・スティーベル博士、ヘルマン・ボルテ氏（建築事務所b2p）、カイ・スティーベル氏、トレーニングアカデミー代表のフランク・レーダー氏。



スティーベルエルトロンのエネルギーキャンパス持続可能で将来を見据えた建築の代表例は今まさにDGNBのプラチナ認証によってその真価を証明されました。